

配水調整システムによる減圧給水の一層の強化について

福岡市では、平常時から配水調整システムを活用し、水圧をきめ細かく調整する減圧給水を行い、水使用量の抑制を図っています。

筑後川流域では、梅雨明け以降、少雨傾向が続き、筑後川水系関連ダム貯水量が低下しています。

福岡市は、水道水の約3分の1を筑後川からいただいております。ダム貯留水の温存を図るため、9月4日から減圧給水を強化しており、9月18日から一層強化します。

今回の強化は、配水管の水圧をこれまで以上にきめ細かく調整することにより、市内の水使用量をさらに抑制するものです。

なお、ご家庭などへの給水に大きな影響が生じない範囲で実施します。

福岡市では、筑後川の水を大切に使うため、引き続き効率的な水運用に取り組んでまいります。

市民や事業者の皆さまにおかれましても、現在の水源状況をご理解いただき、一層の節水にご協力をお願いします。

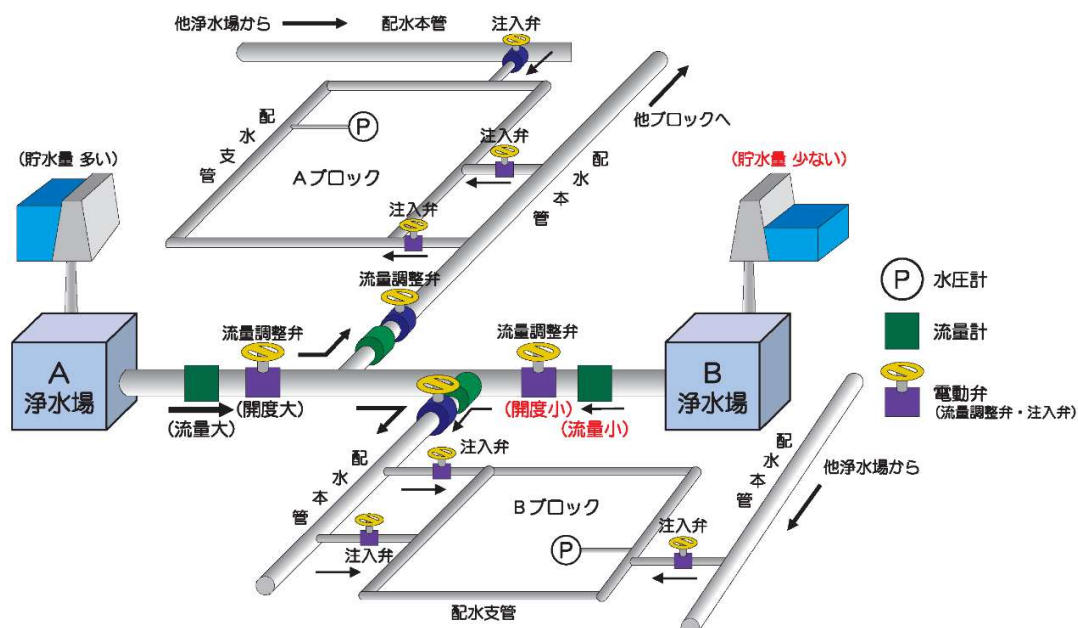
配水調整システムの概要

配水調整システムは、昭和53年の異常渇水の経験を踏まえ、昭和56年に運用を開始しました。

市内全域の配水管に設置した水圧計や流量計の計測値を、水道局水管理センターにおいて24時間体制で監視しています。

時々刻々と変化する水需要に応じて電動弁を遠隔操作し、配水管の水圧を適正に保つことで、漏水量の抑制を図っています。

また、水源状況に応じて各浄水場からの配水量を調整するとともに、配水管を流れる水の向きを変えることで、浄水場間で水を融通し、安定給水を確保しています。



【問合せ先】福岡市水道局水管理課

TEL : 092-483-3175 FAX : 092-482-3150